

熊取六人衆の小林圭二氏が語る
福島原発の現実が
伊方原発の現実になるとき

日時 2011年5月7日(土) 14時～
場所 砥部文化会館 ふれあいホール

砥部町宮内 1410 番地 TEL 089-962-7000

《松山市駅 3 番乗り場より (路線番号 18)》

12:15 発『断層口行』・12:45 発『大岩橋行』乗車『砥部町役場西』下車》

資料代 500 円 託児あります《要予約》



福島で起こった原発事故は、住民、救援に駆けつけた人々、そして事故処理作業を行っている人々の命を脅かしながら、大地を汚染し、海を汚染し、大気を汚染し続けている。大地に育つ命も、海に生きる命も、放射能に侵され、私たちはその恵みを全て失おうとしている。

『熊取六人衆』とは京大原子炉研究所で助手(助教)に甘んじ原発の危険性を訴え続けてきた良心の研究者たち。現在は小出裕章氏と今中哲二氏が研究所在籍。

今も続く制御不能な福島原発は、
いみじくも原発が持つ危険性を浮き彫りにしている。
それは、伊方原発で起こり得ることであり、
明日の私たちの現実である。

主催 コープ自然派 えひめ TEL089-963-8300 (丹)

愛媛有機農産生協 TEL089-963-1002(高須賀)

私たちは自然と生命を大切にし、日本の農業と漁業を守っていきます。